

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1993~1994年度クラブ目標 “出会いを大切にしよう……例会で、みんなが、待っている”

第172回 例会報告 (5/11)

司会者 SAA 臼井 博

◇点鐘 会長 横倉 舜三

◇ロータリーソング「国家」「日も風も星も」
ソングリーダー 吉沢 洋景

◇お客様紹介 会長 横倉 舜三
鍛 大介様 (京王観光)
斉藤 哲彦様 (東京多摩RC)
西垣 守様 (東京府中RC)

◆ 会務報告 会長 横倉 舜三

- 1) 5月定例理事会を5月20日午後6時30分より吉祥院の茶室で行います。
- 2) 6月22日午後6時30分より新旧役員、理事連絡会を永山の健康ランドで開催することといたしました。
- 3) 会員の皆さんのご協力をいただきました、多摩中央警察署管内の交通安全協会の少年鼓笛隊に対し楽器目録の贈呈を5月25日バルテノン多摩で行われる交通安全協会の総会の席で行います。

◆ 幹事報告 幹事 北村 幸彦

- 1) 幹事報告
5月20日(金) → 理事会 (吉祥院)
6月22日(水) → 新旧役員、理事連絡会
以上の出欠の有無を事務局まで連絡ください。

2) 各委員長さんへ

本年度も余すところ僅かになりましたが、各委員長さんは今年度の活動報告書を取りまとめて幹事まで提出してください。

期限は5月末日までをお願いします。

3) 東京白うめロータリークラブより

この度の認証状伝達式に当たり御臨席賜りまた過分なご芳志誠にありがとうございましたとの礼状をいただいておりますのでご報告致します。

◆ 次年度会長報告

会長エレクト 宮本 誠

- 1) 昨日、次年度第1回の会長・幹事分区連絡会がありました。東分区の次期分区代理、分区幹事の許に分区の会長、幹事が全員集まり、来年度のスケジュールや各クラブの方針等を協議しました。
- 2) 次の25日に、地区協議会があります。来年の地区の活動方針について、色々勉強するのですが、来年度の会長、幹事、クラブ奉仕委員長、職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、国際奉仕委員長、ロータリー財団委員長、米山奨学委員長、青少年奉仕委員長が出席することになっています。これについて前もってクラブ内で勉強会をしておきたいので、以上9名は来週の例会後、事務局へ集って下さい。

- 3) 25日の例会後、被選理事会の予定でありましたが、国際大会ツアーの説明会が重なりますので、追って連絡します。
- 4) 来年度のテーマソングを練習します。次週英語の歌詞を貼り出し、次期SAA菊池さんに教えて頂き、毎週一度づつ練習をしますのでどうぞよろしく。

高村 弘 西垣様、お話しが楽しみです。
 赤尾 恭雄 お客様、よろこそ
 吉沢 洋景 次年度の新しいロータリーソングの編曲に苦勞しています。
 田中 實 コメントなし。

合計 25,000円

委員会報告

◆ロータリー豆知識

ロータリー情報委員長 赤尾 恭雄

◆出席委員会 委員 根本 泰守

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本日 報告	52	39	1	11	78.43%
前回 訂正	52	46	0	5	90.2%

メイクアップ

大熊 将夫 (5/10 多摩)

欠席届出者

大松 誠二、萩生田 茂夫、猪股 末男
 中山 順一郎、奥木 博勝、関岡 俊二、
 城倉 正博、高野 範城、伊東 巖、小林 和夫

欠席者 なし

◆親睦委員会

★★★★★★★★★★

ニコニコ BOX

委員 高村 弘

★★★★★★★★★★

若林 滋和 結婚祝ありがとうございました。
 津守 弘範 先日の誕生日の連絡ありがとうございました。
 宮本 誠 ずいぶん久しぶりのような気がします。昨夜、我家の目の前の山の木にフクロウがき来て鳴いてくれましたのでうれしくなりました。
 佐伯 和廣 結婚祝ありがとうございました。
 北村 幸彦 いよいよ幹事報告もなくなってきました。
 橋口 洋三 本日は風間様にOHPを準備していただいたので
 風間 茂穂 西垣様を卓話にお招きできて
 伊藤 英也 西垣様のお話し楽しみです。

1)「クラブ・プログラム」

クラブの細則により、クラブ例会の議事順序を規定する。単に関心の高いテーマ又は娯楽を意図したものより、ロータリーに関するプログラムを心掛ける。奉仕プロジェクトの交換およびクラブ間の円満な関係を増進する為に、例会に同一地区のクラブ会長を招待し、プログラムと活動につき報告する機会を提供する等の理事会決定がされている。

2) 来月の国際大会ツアーの添乗の幹事、鍛さん(京王観光)の紹介。

25日の夜間例会後に説明会を行います。



「金メダルへの道」

国士館大学体育学部講師
齊藤 仁様

ご紹介いただきました
斉藤です。人生の諸
先輩方の前で話すのは、
誠に僣越な気持ちでおり
ます。今日は自分自身
の柔道における体験を
「金メダルへの道」と
してお話しさせていた
だきますが、全部話すと5時間位かかります
ので思いっきり短縮して30分で話を進めたい
と思います。

私は青森県の出身です。青森といえば“相
撲”が盛んなところ。私も近所の人から
“相撲をやれ”と言われ誘われたりしたの
ですが、人に“お尻”を見せるのが恥ずかしい
とかの理由をつけて子供心にも“相撲”だけ
はやりたくないと考えておりました。当時、
柔道一直線というテレビ番組があり、それ
を見て柔道をやろうと思い、中学に進学して柔
道部に入りました。すぐにテレビと現実の違
いに気付きましたが一所懸命頑張りました。
ところが……2年になる時に柔道部の先生が
転任されて顧問がおられなくなってしまい、
柔道場を教室に転換するという様な計画も
あって廃部の危機に直面しました。部員が結
束し必死にお願いし、やっと顧問を引き受け
てもらえる先生に巡り会えました。新しい顧
問は身体も小さく柔道の経験も全くないとい
う先生でした。

この先生は私達に「柔道入門」という一冊の
本を示して「私は何も教えない。本当に柔道
が好きで柔道部を守りたかったらこの本を先



生と思って自分達で学んで一所懸命頑張れ」
と言われました。それまでは先輩達の柔道
を“見よう見まね”で、やっていたのです
が、この本を皆で隅から隅まで読んで、書か
れていることを手本に田舎柔道を作っていっ
た思い出があります。そんな中で、たまたま
県の個人戦で優勝しました。東京からもスカ
ウトが来られるという話が伝わり、同僚達は
「東京は危ないところだから行くな！」など
と言い、自分でも「行きたくない」という気
持が強かったのですが、親父が勝手に決め
て、親父の意見が全ての家庭環境でしたか
ら、そのまま東京行きが決まってしまいま
した。

国士館高校に入学しますと道場は高校、大
学が一緒に600畳位の広さがありました。あ
まりの広さに“本当にここでやれるのदारう
か”と気後れもしたことを記憶しております。
監督さんは“日本一をねらう高校だから日本
一稽古しなければならぬ。日本一の稽古を
して初めて日本一になる運が廻ってくる”が
口癖でしたので部員達も死にもの狂いで厳し
い稽古をしました。それが実って2年、3年と
インターハイで団体戦優勝し、私自身も世界
選手権、オリンピックでのビックタイトルを
ねらう選手としての全日本の強化選手に選ば
れました。

私が大学1年の時、山下さんは東海大学の
4年生でした。学生選手権の決勝戦で対戦
し、試合では敗けたのですが、たまたま山下
さんの技を返したことが“山下2世現れる”
“ポスト山下・斉藤”などという記事になり
翌日の新聞各紙に掲載され驚きました。

大学を卒業した年の世界選手権で優勝し、
その翌年のロス五輪でも優勝して世界一にな
ることが出来ました。ところが……日本では
2位なんです。何としても山下さんに勝たな
ければ……と考え、そのことだけを目標に頑

張りました。

ロス五輪後の全日本選手権の決勝戦で引退直前の山下さんと対戦しました。追いかけて行く立場の私としては並ぶところ迄は何かありました。しかし山下さんに勝って追い越すためには2倍、3倍の努力が要ると考えて必死で研究し稽古しました。山下さんに勝って日本一になれる最後のチャンスに臨み僅差で敗れた時、実は山下さんもこの間に2倍、3倍あるいはそれ以上の努力をされて来られたんだという事に気付きました。あまりにも大きな山下さんの存在を痛感したことを忘れることは出来ません。山下さんの引退後は目の大きな壁がなくなり、自分自身との戦いが始まりました。身体中が故障して、特に練習中に膝を痛めドン底の状態が続きました。“斉藤の柔道も終り”ということを実感しオリンピック予選会の1年前に止むを得ず膝の手術をしました。リハビリのために出かけた温泉病院で懸命にリハビリしているおじいさん、おばあさん達に会うことが出来ました。

皆さんの存在は膝の状態がなかなか良くなり柔道選手にとって致命傷である体重減しか直す方法がないと宣告されて、柔道選手としてはもう終りだという気持ちになっている私にとって、大変大きな大きな刺激でした。繰り返し繰り返し丹念にリハビリされてやっと動いた掌を私に見せてくれたあのおじいさんの笑顔は今でもハッキリと覚えています。生きる執念を身をもって見せてくれて、膝を直す前に心を直せと教えていただいたのです。

ソウルオリンピックには“信じてやって来たことだけをやれ!”と高校の恩師に指摘され、郷里の親父から“人に敗けても良いが自

分には敗けるな”と言われたことを心に念じて、山手線を四周もして気持ちの整理をし、やっと寮にたどりついた学生時代のことなども思い出して、その舞台に挑みました。振り返れば……ロス五輪は“勢い”で勝て、ソウルは色々な皆様の“後押し”があったこそ勝てたのだと実感いたします。

100%稽古しない奴は試合に出る資格がない。

100%燃え切れない奴は相手と戦う資格がない。と考えて闘ってきた自分を思い起こし五輪半年後に現役を引退しました。

引退後は母校の監督として当地に勤務し住居も三年前に多摩市豊ヶ丘に引越して来て、この街の素晴らしさを楽しんで居ります。

本日はお招きいただき、またご静聴ありがとうございました。



東京多摩グリーンロータリークラブ



会長：横倉 舜三 副委員長：森田 舞子
幹事：北村 幸彦 委員：海野 栄一・奥木 博勝・吉沢 洋景
会報委員長：小島 周二郎 小坂 一郎・佐伯 和廣

※例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

※例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30